

経営比較分析表

広島県 三次市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 |
|-----------|-------------|-------------|--------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 特定環境保全公共下水道 | D2 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) |
| - | 該当数値なし | 7.18 | 100.00 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 54,622 | 778.14 | 70.20 |
| 處理区域内人口(人) | 處理区域面積(km ²) | 處理区域内人口密度(人/km ²) |
| 3,901 | 3.34 | 1,167.96 |

| グラフ凡例 |
|-----------------|
| ■ 当該団体値 (当該値) |
| — 類似団体平均値 (平均値) |
| 【】 平成27年度全国平均 |

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

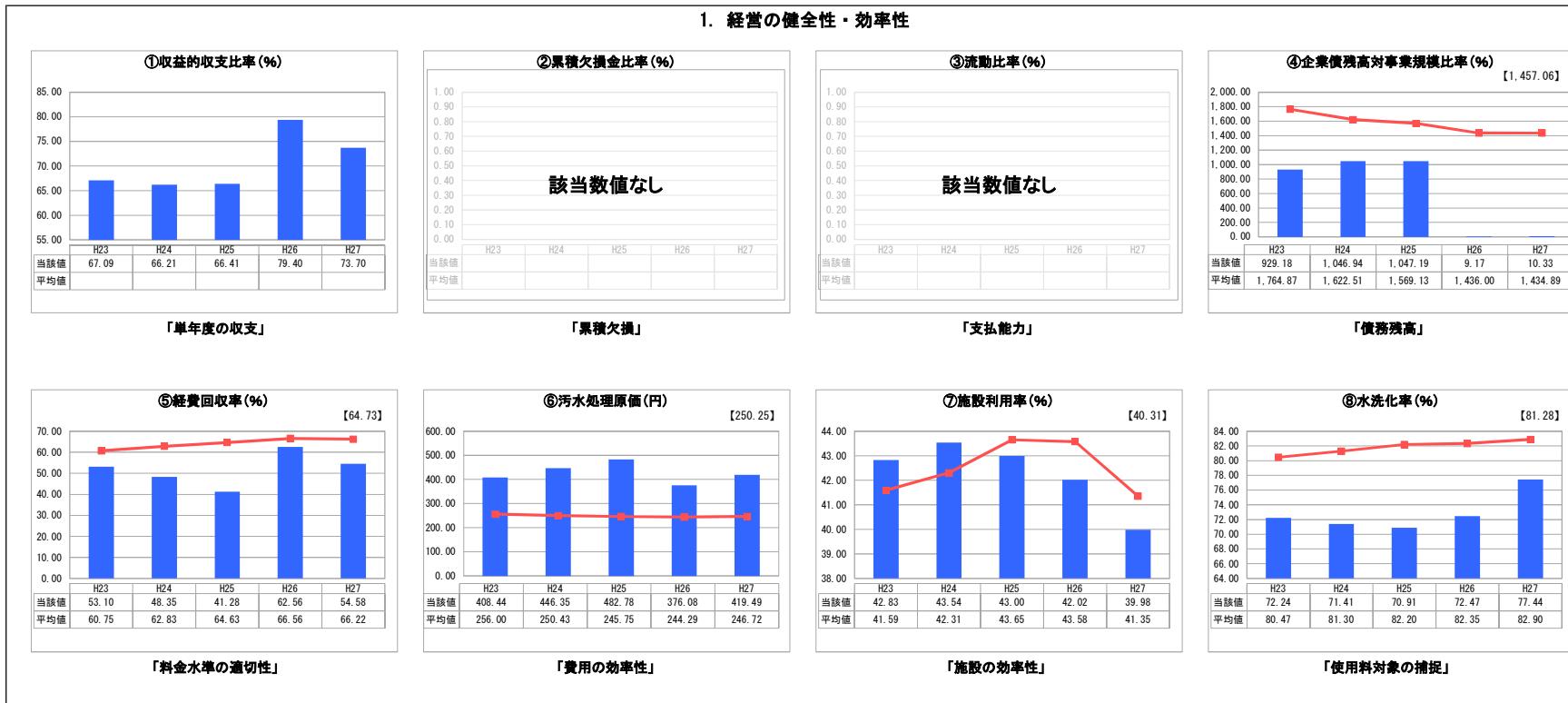
●収益的収支比率、企業債残高対事業規模比率
平成27年度は、収益的収支比率が3%程度であり、昨年度に比べ5.7ポイント悪化している。主な要因は、単年度での修繕工事費が増大したためである。企業債残高対事業規模比率は、企業債残高の減少に伴い平均値を下回り、昨年度に継続改善傾向である。

●経費回収率、汚水処理原価
平成27年度は、経費回収率が昨年度に比べ8.0ポイント悪化し、汚水処理原価は昨年度に比べ43.4円高くなっている。主な要因は、単年度での修繕工事費が増大したためである。なお、汚水処理原価が平均値より高い理由は、8市町村の合併により、現在6処理場を有しているためである。今後も、経常的経費の節減と適正な経費回収に努め、処理場の統廃合について検討する。

●施設利用率、水洗化率
平成27年度は、施設利用率が昨年度に比べ2.0ポイント悪化している。主な要因は、布野水質管理センター増設による処理能力の向上によるものである。水洗化率は平均値を下回っているものの、接続人口が毎年増加しているため年々向上している。今後も加入促進を行い、水洗化率向上に努める。

2. 老朽化の状況について

平成3年から下水道工事に着手し、平成6年から供用開始しているため、管渠の老朽管更新を行う時期ではないが、計画的な更新に努める。



全体総括

8市町村の合併により、現在6処理場を有しているため、汚水処理原価が高く、経費回収率や施設利用率が平均値に比べ低い状況にある。

今後は、公営企業会計化へ向けて資産を整理し、施設効率の改善や料金体系の見直しを行なながら、処理場の統廃合も視野に入れ、計画的な事業展開に努める。